



薬小っ子スタンダード  
当たり前のことを  
当たり前に行ける子に

# 薬師寺小だより

平成28年7月  
夏休み号  
下野市立  
薬師寺小学校長  
鈴木一恵



自分のことは  
自分でする

やさしく



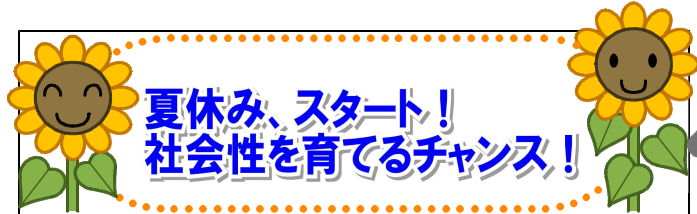
テレビやゲームの  
時間を決める

かしこく



家族と一緒に  
正しい食習慣

たくましく



## 夏休み、スタート！ 社会性を育てるチャンス！

夏休みを目前にしたある日、1年生の廊下を通りかかると、A君が「校長先生！」と呼び止めるので、「なにになに？」と屈んで耳を傾けると、「ぼくね、夏休みにお泊まりに行くんだよ。」とささやくように教えてくれました。A君にとって小学校初めての夏休み、胸弾ませている様子がよく分かりました。

日頃できないことを体験させてあげられるのが夏休みの醍醐味、どちらのご家庭でも夏休みならではの計画がおありのことでしょう。

その一つにぜひ公共の場でのマナー・公德心といったものを教える機会を作り、社会性を育ててみてはどうでしょうか。

何年も前の話ですが、駅で見かけた親子の話です。ホームには、列車のドアが開くのを待つ長い列ができていました。私は列の先頭にいたのですが、ドアが開くと同時に小学生の兄弟が割り込んできました。座れない客が大勢いる中、両親とこの兄弟は見事ボックス席を確保しました。母親は「よかった！あなたたちのおかげで座れたわ。」といった感じで笑顔を見せていました。



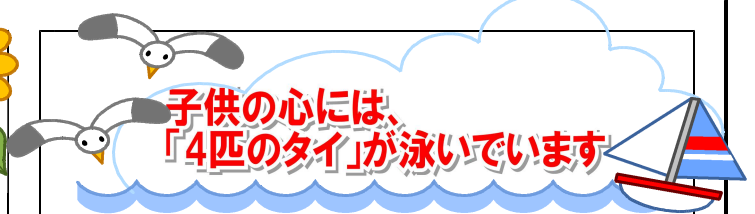
もう一つ、やはり夏休みにフェリーに乗った時のことです。私の座席の向かい合わせに、3、4年ぐらいの女の子と両親が座っていました。その女の子がトイレに行こうとしたのか、デッキに出ようとしたのかは分かりませんが、立ち上がり私の前（私と両親の間・結構広いスペースがありました）を普通に通りとうしました。すると、父親が「『失礼します』と言いなさい！」と注意したのです。私は、「素晴らしいお父さんだなあ。」と感心してしまいました。

小さな声で「失礼します。」と言った女の子に、私は精一杯の笑顔を見せました。



公共の交通機関や施設の利用は、ルールやマナーの大切さを実感させ、社会性を育てる絶好のチャンス、お薦めの体験です。

子は親のするとおりにする・・・言葉で言わなくても、お父さんお母さんの姿からお子さんはたくさんのことを学びます。「子は親の鏡」ということですね。



## 子供の心には、 「4匹のタイ」が泳いでいます

先日の授業参観にはたくさんの保護者の皆様にお越しいただき本当にありがとうございました。蒸し暑い日だったのにもかかわらず、前回と同様に熱心なご参観並びに懇談会へのご出席をいただき心から感謝申し上げます。

この日は学校評議員会があり、評議員さんも授業を参観されました。子供たちの授業態度や保護者の熱心な参観の様子について、お褒めの言葉をいただくことができました。

翌朝、登校してくる子の中にいつも増して晴れやかな表情で挨拶をしてくれる子がいました。声を掛けてみると、「昨日、お母さんが『頑張っていたね』って褒めてくれたんだよ。」という話をしてくれました。よほど嬉しかったのですね。一方、その傍らで「うちは別に何も言われなかったよ。」と、ちょっと寂しそうな声も。

帰宅後の様子は様々だったようですが、参観して下さったことが何よりも子供たちにとっては嬉しかったこと、自分のことを思ってもらえていると実感できたのですからね。

私はそんな二人の言葉を聞き、かつて、先輩の先生から伺った「4匹のタイ」の話を思い出しました。どの子の心にも、下のような4匹のタイが泳いでいるという話です。



お子さんの心のタイは、いつも親御さんのすぐそばを泳いでいます。一緒に過ごす時間が多くなる夏休みは、このタイをキャッチしてあげるチャンスがたくさんありますね。

毎日1匹でもいいですから、このタイを上手にキャッチし調理して、夕食のメニューに加えてみてはいかがでしょうか。夕食の時間が、より温かくて楽しいものになると思います。

このような時間の積み重ねがお子さんの「心の蓄え」となって「自己肯定感」を高め、自信を育てます。お子さんの心のタイはもっともっと元気に泳ぎ出し、大きく成長してくれることでしょう。





# 本の世界へ誘う らこんてさんの読み語り 夏休みも「家読」でつなげてください 「本への関心」

7月の読み語りが終わりと、らこんての皆さんを玄関でお見送りした時に伺ったお話です。

Aさんは「子供たちに『待っていたよ』と言われて嬉しくなりました。この言葉が励みです。」と話されていました。

また、Bさんは、「高学年の子には、そろそろ『杜子春』もいいかなあと選んじましたが、少し難しいかもしれないので紙芝居にしました。よく聞いてくれましたよ。」と安心したように話してくださいました。

毎回、子供たちのことを考えて1冊の本を選んでくださっていることに心から感謝いたします。夏休みの家読の参考にもなるとお思いますので今回の書名及び読んでくださった方々を紹介しします。



1の1「しっぽのはたらき」	城鳥さん
1の2「おぼけのてんぷら」	篠原さん
2の1「けん太と山どり」	館野さん
2の2「シニガミさん」	原田さん
3の1「ごきげんなライオン」他	内田さん
4の1「かわいそうなぞう」	岡部さん
4の2「からだのなかにはなにがある？」	山口さん
5の1「アンモナイトの夏」	野口さん
5の2「ハスの花の精リアン」	大関さん
6の1「キング牧師のカブよいことば」	松本さん
6の2「杜子春」	吉田さん

今回お休みでしたが杉崎さんもお世話になっています。

## 【低学年の様子】



## 【中学年の様子】



## 【高学年の様子】



## 校長から宿題「元気活用ミッション4『つ』」

心肺蘇生法講習会には、60名を超える保護者の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。夏休みのプール監視では大変お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

4月から本日まで元気に登下校できましたのは、保護者様、安全ボランティアの皆様、子供を守る家の皆様のお陰です。夏休みも元気に楽しく過ごし、9月1日には学校に全員の笑顔が戻ってくることを願っております。そこで、夏休み前の集会では、校長から子供たちへの宿題として「元気活用ミッション4『つ』」を出しました。



- その1 早寝早起き朝ご飯、外遊びで元気を**つ**くること
- その2 交通事故や水の事故などに遭わずに元気を**つ**づけること
- その3 「○○をがんばる」「□□ができるようになる」の目標を決めて元気を**つ**かうこと
- その4 家族や地域の人への挨拶、お手伝い、地域の行事で元気を**つ**たえること

物やお金は使えばどんどん減ってしまいますが、元気は使えば使うほど増えます。ミッション4『つ』そろえて100点満点の夏休みになりますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。